

## 最近の主な進路 就 職

英語英文学	◎秋田大学 ◎秋田工業高等専門学校 ◎岩手県教員 ◎岩手県立大学 ◎海上保安大学校 ◎北見工業大学 ◎教員(東京都、福島県、宮城県) ◎島根大学 ◎尚絅学院大学 ◎岩手医科大学 ◎聖ウルスラ学院教員 ◎東北学院中学・高等学校 ◎東北学院櫛ヶ岡高等学校 ◎東北工業大学 ◎日本大学工学部 ◎八戸工業大学 ◎三重大 ◎山形県立米沢女子短期大学 ◎流通経済大学
ヨーロッパ文化史	◎音楽の友社 ◎紀伊国屋書店 ◎公務員(宮城県内、山形県内) ◎静岡大学 ◎尚絅学院女子中学校・高等学校 ◎仙台白百合女子大学 ◎損保ジャパン ◎東北大学金属材料研究所 ◎東北大学病院 ◎日本通運(株) ◎農協観光 ◎北杜学園 ◎米沢工業高等専門学校 ◎陸上自衛隊 ◎JTB北海道 ◎株)NHC ◎NTT-ME東北 ◎TOPPAN(株)
アジア文化史	◎朝日新聞社 ◎秋田県埋蔵文化財センター ◎石巻市教育委員会 ◎大崎市教育委員会 ◎岐阜県立博物館 ◎気仙沼市教育委員会 ◎公務員(青森県内、秋田県内、岩手県内、栃木県内、福島県内、北海道内、宮城県内) ◎蔵王町教育委員会 ◎仙台市教育委員会文化財課 ◎仙台市公文書館 ◎東京放送 ◎遠野市教育委員会 ◎東北学院大学 ◎東北高校 ◎常盤木学園高等学校 ◎国立歴史民俗博物館 ◎奈良県立橿原考古学研究所 ◎新潟市歴史博物館 ◎二戸市教育委員会 ◎八戸市博物館 ◎北海道博物館 ◎(独)防災科学技術研究所 ◎盛岡大学 ◎もりおか歴史文化館 ◎(公財)山形県埋蔵文化財センター ◎米沢市教育委員会
経済学	◎岩手県立大学宮古短期大学部 ◎教員(高校) ◎公務員(宮城県内) ◎信用金庫 ◎福祉施設教員
経営学	◎個人会計事務所(含む自営) ◎法人並びに個人税理士事務所(含む自営)
法学	◎会計事務所 ◎教員(宮城県) ◎きらやか銀行 ◎公務員(福島県内、宮城県内) ◎積水ハイム ◎仙台国税局 ◎税理士事務所 ◎株)東北エレクトロニクス ◎東北管区警察局 ◎東北工業大学高等学校 ◎日新火災海上保険(株) ◎株)日本不動産研究所 ◎三井住友海上火災(株) ◎三菱電機(株) ◎山形地方裁判所 ◎JA古川 ◎JR東日本東北総合サービス(株)
機械工学	◎アルプスアルパイン(株) ◎石巻市職員 ◎キオクシア岩手(株) ◎株)ジェイエムエンジニアリング ◎株)ジャムコ ◎信越化学工業(株) ◎スズキ(株) ◎株)SUBARU ◎株)TACSOL ◎テルモ(株) ◎東京エレクトロニクス(株) ◎東芝デバイスソリューション(株) ◎株)牧野フライス製作所 ◎ミネベアミツミ(株) ◎株)宮城テレビ放送 ◎株)ユアテック
電気工学	◎Astemo(株) ◎NECソリューションイノベータ(株) ◎NTTセキュリティ・ジャパン(株) ◎シャープ(株) ◎(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 ◎東京電力ホールディングス(株) ◎東北電機製造(株) ◎東北電力(株) ◎株)トーキン ◎TOPPAN(株) ◎株)パナソニックシステムネットワークス開発研究所 ◎株)PKUTECH ◎株)ビーブレイクシステムズ ◎マクセルフロンティア(株) ◎三菱電機(株) ◎村田機械(株)
電子工学	◎株)ACCESS ◎NTT東日本・東北 ◎エリクソン・ジャパン(株) ◎株)KOKUSAI ELECTRIC ◎株)ジャパンセミコンダクター ◎進工業(株) ◎仙台市職員 ◎ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) ◎TDK(株) ◎東北エプソン(株) ◎株)日立ハイテク ◎古川エヌ・デー・ケー(株) ◎マイクロンテクノロジー ◎宮城県教員(高校・工業) ◎株)ミラプロ ◎株)UACJ
環境建設工学	◎いであ(株) ◎株)エイト日本技術開発 ◎株)L・P・D ◎株)オリエンタルコンサルタンツ ◎大和ハウス工業(株) ◎東北電力(株) ◎株)パシフィックコンサルタンツ(株) ◎株)長谷工不動産 ◎株)日比野設計 ◎宮城県職員
人間情報学	◎教員(宮城県) ◎公務員(青森県内、宮城県内、山形県内) ◎仙台商工会議所 ◎仙台白百合女子大学 ◎仙台ランゲージスクール ◎東北学院大学 ◎株)トリプルアイズ ◎日本赤十字看護大学 ◎日本大学文理学部 ◎山形大学医学部 ◎バイオニアシステムテクノロジー(株) ◎東日本旅客鉄道(株) ◎esriジャパン(株) ◎株)TKC

## [修業年限及び最長在学年限]

博士課程前期課程(修士課程)の標準修業年限は2年、博士課程後期課程の標準修業年限は3年であり、最長在学年限については、所定の手続きをして在学延長が認められると、博士課程前期

課程(修士課程)は4年まで、博士課程後期課程は6年まで在籍することができます。

## [課程の修了要件]

博士課程前期課程(修士課程)の修了要件は、2年以上在学し、研究科で定めた単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することを要します。

博士課程後期課程の修了の要件は、3年以上在学し、研究科で

定めた単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格することを要します。

なお、優れた研究業績を上げた学生については、研究科の定めるところにより、在学期間を短縮して修了することができます。